

みずほCustomer Desk Report 2018/04/12号(As of 2018/04/11)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.10
TKY 9:00AM	107.14	1.2364	132.45	1.4182	0.7764
SYD-NY High	107.22	1.2396	132.60	1.4223	0.7773
SYD-NY Low	106.65	1.2347	132.04	1.4162	0.7740
NY 5:00 PM	106.78	1.2367	132.08	1.4180	0.7760
NY DOW	24,189.45	▲ 218.55	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,069.03	▲ 25.28	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,642.19	▲ 14.68	米国2年債	2.3050	0.00bp
日経平均	21,687.10	▲ 107.22	米国5年債	2.6121	▲ 1.18bp
TOPIX	1,725.30	▲ 6.64	米国10年債	2.7781	▲ 2.19bp
シカゴ日経先物	21,680	▲ 185.00	独10年債	0.4980	▲ 1.45bp
ロンドンFT	7,257.14	▲ 9.61	英10年債	1.3865	▲ 1.90bp
DAX	12,293.97	▲ 103.35	豪10年債	2.6740	▲ 1.50bp
ハンセン指数	30,897.71	168.97	USDJPY 1M Vol	7.25	▲ 0.10%
上海総合	3,208.08	17.76	USDJPY 3M Vol	7.58	0.01%
NY金	1,360.00	14.10	USDJPY 6M Vol	8.01	0.04%
WTI	66.82	1.31	USDJPY 1M 25RR	-0.78	Yen Call Over
CRB指数	198.83	1.72	EURJPY 3M Vol	7.80	0.03%
ドルインデックス	89.57	▲ 0.02	EURJPY 6M Vol	8.30	0.08%

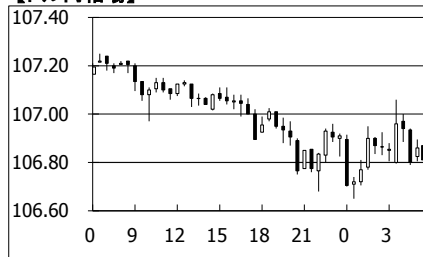
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月11日	10:30	中	PPI (前年比)	3月 3.1% 3.3%
	10:30	中	CPI (前年比)	3月 2.1% 2.6%
	17:30	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 0.1%/2.2% 0.4%/2.9%
	17:30	英	製造業生産(前月比/前年比)	2月 -0.2%/2.5% 0.2%/3.3%
	21:30	米	CPI(前月比/前年比)	3月 -0.1%/2.4% 0.0%/2.4%
4月12日	03:00	米	FOMC議事要旨	3月 - -

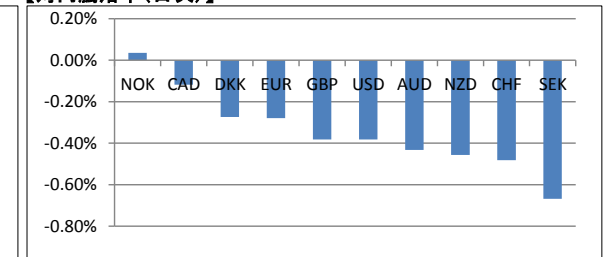
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月12日	18:00	欧	鉱工業生産(季調済/前月比)	2月 0.1% -1.0%
	20:30	欧	ECB議事要旨	- -
	21:15	欧	クーレECB専務理事 講演	- -
	21:30	米	新規失業保険申請件数	- 230k 242k
4月13日	01:00	欧	バイトマン・ドイツ中銀総裁 講演	- -
	04:00	英	カーニー・BOE総裁 講演	- -

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.30-107.30	1.2340-1.2440	131.50-132.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は軟調な推移となった。米3月CPIは市場予想通り、発表されたFOMC議事録では景気や物価の先高観が示されたことから、ドル円が反発する局面も見られたが、シリア情勢の緊迫化へ警戒でリスク回避姿勢が強まり、ドル円は106円台後半に下落した。本日のドル円は上値重く推移すると予想。米中貿易摩擦への懸念が和らぎつつあるものの、シリア軍事問題巡る警戒感が拡大し、投資家のリスク回避姿勢が続く中、シリア情勢に関する報道や日中株価の動向を睨みながら、本日のドル円は106円台後半で上値重く推移しそうだ。

東京	東京時間107.14レベルで取引を開始したドル円は仲値の発表にかけて輸出企業による円買いが意識される中、東京時間安値となる106.97まで下落するも、すぐに107円台を回復。107.15まで反発する場面も見られたが、107円台半ば付近では先週から数回止められた水準であることから、レジスタンスラインとして意識され、ドル円は上値重く推移。その後は、米3月CPIやFOMC議事要旨の発表を控える中、ドル円は107円台前半で方向感無く推移し、結局107.05レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は107.05レベルでオープン。米3月CPIの発表を控え、107円台で動意に乏しい中でトランプ米大統領がツイッターでロシアに対し、「ロシアはシリアへのミサイル攻撃に備えよ」といった内容を発信したこととリスクオフモードが強まりドル円は一時的に106.75まで下落。106.86レベルでNYに渡った。ユーロは1.2369レベルでオープン。1.2375レベルでNYに渡った。ポンドは1.4189レベルでオープン。1.4223まで買われる局面が見られるも、その後は下落に転じ、1.4165レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、シリア情勢に伴う地政学リスクの高まりから106.75まで下落し、106.86レベルでNYオープン。NY早朝にトランプ米大統領が「ロシアはシリアへのミサイル攻撃に備えよ」といった内容をツイッターで発信したことを受けたリスク回避の円買いがNYオープン後も継続。米3月消費者物価指数はヘッドラインが予想比弱め、コアCPIは予想通りといった結果となり材料視されず、リスク回避の円買いに106.68まで下落。オプションカットにかけて一旦106.96まで買い戻される場面もあったが、ポール・ライアン米下院議長が来年1月の引退・今年11月の中間選挙では再選を目指さない方針であることを発表したことや、マティス米国防長官の「シリア化学兵器使用の可能性、米国は情報評価中」「米国防総省は、大統領が支持すれば軍事的選択肢を提示する用意」との発言を受け、この日の安値となる106.65まで下落。米10年債入札に向けて米金利が上昇する動きを横目に106.95まで上昇し、その後公表されたFOMC議事録において、一部の参加者が従来よりもやや急ピッチな利上げペースが適切との見解を示したことが明らかになり、107.06まで急伸。しかし、貿易摩擦(他国からの報復措置)は米景気の下振れリスクと大半の参加者が考えていることも明らかになり、すぐに106円台後半に反落し、結局106.78レベルでクロス。一方、1.2375レベルでNYオープンしたユーロは、朝方1.2396まで上昇する局面もあったが、FOMC議事録発表後のドル買いに1.2347まで下落し、1.2367レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: ウー・鶴田